

①北海道旭川市 「笑顔と自然あふれるまち、旭川。」

リスク分散，産地立地の最適地！！

【概要】

- ・位置 北海道のほぼ中央に位置し，四季が明瞭で冷涼な気候が特徴で，地震などの自然災害が少ない。
- ・市域 <面積> 約747.66km²
<標高(海拔)> 約112.1m
- ・人口 <総数> 約34万人
<世帯数> 約178,000世帯（平成30年7月1日現在）
- ・交通アクセス 飛行機で東京から約1時間40分，JRで札幌から約1時間20分
- ・主要産業 農業（稲作），木工業，機械金属産業，食品加工業 など

【旭川市が誇る3つのメリット】

<1. 都市機能と自然が融合>

産業，医療福祉，教育・文化などの都市機能が揃うとともに，郊外地区には豊かな自然あふれる田園地帯が広がる。

<2. 抜群の交通アクセス>

札幌からはJRで1時間20分，東京からは飛行機で1時間40分（1日7往復）。近年は，航空路線の充実により，外国人を含む年間500万人の観光客が訪れる。

<3. 北海道第2位の人口規模>

人口は札幌市に次ぐ北海道第2位の34万人で，労働力確保が比較的容易。

【メッセージ】

旭川市は，全国で最小クラスの大地震発生リスクをはじめ，自然災害の発生が極めて少ないため，安心・安全な操業が可能なまちです。

空港の就航率は，年間99.5%と欠航がほとんどなく，また，北海道の交通の要衝であるため，道産農畜水産物を使用した食品加工や物流の拠点としても最適です。

企業活動に当たっては，旭川市工業等振興促進条例による優遇制度や，旭川市企業立地促進利子補給制度，人材確保・人材育成などのサポート体制も充実しています。

【お問い合わせ先】

- ・住所：〒070-0036 北海道旭川市6条通8丁目 セントラル旭川ビル6階
- ・電話：0166-25-7534 ・FAX：0166-24-7011
- ・お問い合わせ先：学校教育部 教育政策課 適正配置担当
- ・URL：<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/>

②福島県郡山市

「廃校活用・ビジネス拠点に最適なまち、郡山。」

「人」、「モノ」、「情報」に加え、 「知」の集積が進む研都郡山！！

【概要】

- ・位 置 福島県の中央に位置し、「人」、「モノ」、「情報」が活発に行き交う福島県の中核都市として発展を続けています。
- ・市 域 <面積> 757.20km²
<標高(海拔)> 245m (郡山市役所)
- ・人 口 <総 数> 33万3,206人
<世帯数> 14万1,518世帯(H30.7.1現在)
- ・交通アクセス 鉄道や東北・磐越両自動車道が縦横に交差するなど、交通の利便性に優れています。
- ・主要産業 卸売業・小売業が22.8%と最も高く、次いで製造業、医療・福祉、宿泊業・飲食サービス業等となり、多様な業種が発展しています。

【郡山市のプロフィール】

1. 太平洋と日本海を結ぶ磐越自動車道と東北自動車道が交わる東北の交差点
2. 東北新幹線の上下線発着本数が1日96本
3. 産学金官が連携する交流拠点
4. 病院・医師数が全国平均を大きく上回るメディカルが充実したまち
5. 野菜や米、鮮魚など和洋折衷料理に欠かせない食材が何でも揃うまち
6. スポーツ・レクリエーション施設が充実したまち
7. 子育て支援施設があり、安心して子育てと仕事を両立できるまち



【メッセージ】

今年度は、旧大田小学校（西田町）の公募を行う予定です。廃校利用をご予定の際には、是非、旧大田小学校の活用をご検討ください。

【お問い合わせ先】

- ・住所：〒963-8601 福島県郡山市朝日一丁目2 3 番 7 号
- ・電話：024-924-2051 ・FAX：024-931-3245
- ・お問い合わせ先：財務部公有資産マネジメント課資産活用係
- ・URL：<https://www.city.koriyama.fukushima.jp/>

③京都府舞鶴市

「豊かな自然と深い歴史が、出会うまち。」



ビジネスチャンスが京都・舞鶴に！！

【概要】

- ・位置 本州のほぼ中央部、北近畿に位置し、日本海に面した京都・舞鶴港は、波静かな天然の良港。東西に市街地を形成しており、東は旧海軍、西は城下町として発展してきた歴史があり、今もその趣を残しています。
- ・面積 342.12km²
- ・人口 <総数> 81,382人
<世帯数> 34,654世帯
(平成30年7月1日現在)
- ・主要産業 造船・ガラス・食品等製造業
農林水産業



【舞鶴市が誇る5つのメリット】

- <1. 陸路、海路の交通アクセスの良さ。国内外へのビジネスネットワーク>
舞鶴若狭自動車道と京都縦貫自動車道による京阪神、中京圏、北陸圏への交通アクセスの良さ。小樽港へのフェリーが毎日運航、韓・露等への国際フェリー航路も。
- <2. 充実した企業立地の支援制度>
全国でもトップクラスの手厚い優遇制度により、新規立地を強力にバックアップ。
- <3. きめ細かな雇用支援>
国・府・市が連携し、雇用の確保に向けた多様な施策を支援。
- <4. 特色ある食材 新鮮な海産物・大地の恵みの農産物>
京のブランド製品の万願寺甘とうや丹後とり貝、舞鶴かに、舞鶴かまぼこ等の魚介類、舞鶴茶(全国品評会かぶせ茶部門で5年連続産地賞全国第1位)、旧海軍ゆかりの海軍カレーや肉じゃが等の食が満載。
- <5. 個性的な廃校5校>
バレー面2面の大きな体育館が魅力の旧由良川中、高速ICから車で3分の旧岡田上小、自然あふれる旧岡田中小、海水浴場に近い旧神崎小、マリーナが近く海を見渡すロケーションがきれいな旧青井小。



【メッセージ】

舞鶴市の特色ある食材、観光施設等の地域資源、地域コミュニティの強さ、創意あふれる廃校の活用案のコラボで、舞鶴で新たなビジネスチャンスを見出してみませんか？

【お問い合わせ先】

- ・住所：〒625-8555 京都府舞鶴市字北吸1044
- ・電話：0773-66-1045 ・FAX：0773-62-5099
- ・お問い合わせ先：総務部資産マネジメント推進室資産マネジメント推進課公共施設経営管理係
- ・URL：shisan@city.maizuru.lg.jp



④ 島根県浜田市 「海と山に囲まれた、魅力いっぱい元気な町」

ぜひ視察に来てください！！

海・山などの美しい自然と「石見神楽」やユネスコ無形文化遺産「石州半紙」などの伝統文化、豊かな自然を生かした観光資源を有しており、教育文化施設が充実した島根県西部の中核都市です。

【概要】

- 〔位置〕 位置・自然環境、気候等
〔面積〕 690.66km²
(東京23区よりやや広い)
〔人口〕 総数 54,689人
世帯数 25,949世帯
(平成30年4月末現在)
〔交通〕 飛行機 羽田空港⇒浜田市
2時間～3時間
新幹線 東京駅 ⇒浜田市
5時間30分
(広島市へは高速道路で1時間30分)



【主要産業】

- 〔漁業〕 市の基幹産業であり、浜田漁港は県内随一の特定第三種漁港(のどろ、アジ、カレイ等を水揚げ)
〔特産〕 弥栄米、ピオーネ、赤梨等
〔レジャー〕 海水浴、温泉、スキー、ゴルフ等



【浜田市が誇る3つのメリット】

- ✓ 人材面 ・採用競争が首都圏ほど激しくなく、必要な人材を採用できる。
・首都圏と比べ、退職リスクが少ない。
- ✓ 立地面 ・オフィス賃料や人材費など、首都圏と比べコストメリットがある。
・本社所在地に大規模な自然災害が起きても事業継続が可能である。
- ✓ 産業面 ・進出先で新たな顧客・販路開拓できる。
・地域の企業とのネットワークなど、事業発展のための機会が見込める。

【各種助成制度があります】

- ① 投下固定資本補助
- ② 雇用促進奨励金
- ③ 賃料・通信費補助 (ソフトウェア業)
- ④ その他 (詳細は問合せください)

【お問い合わせ先】

- ・住所：〒697-8501 島根県浜田市殿町1番地
- ・電話：0855-25-9501 ・FAX：0855-23-4040
- ・お問い合わせ先：浜田市産業政策課雇用対策係
- ・E-mail：sangyou@city.hamada.lg.jp

⑤徳島県三好市 「ほどよい田舎まち、三好。」

生活に必要なものは全て整っている！！

【概要】

- ・位置 徳島県の最西端に位置し、高知県、香川県、愛媛県と接する四国一広い面積を有する自治体。
- ・市域 <面積> 約721.42km²
<標高(海拔)> 約110m
- ・人口 <総数> 26,564人
<世帯数> 12,823世帯（平成30年5月末現在）
- ・交通アクセス：徳島空港から徳島自動車道で約1時間
- ・主要産業：建設業、農林水産業従事者が多い

【三好市が誇る3つのメリット】

<1.ブロードバンド環境>

市内全域に光ケーブルが張り巡らされ、下り1Gbpsという高速通信が可能となっている。また、過疎のまちであるが故にネットは混雑しておらず、通信環境は快適。

<2.コンパクトシティ>

市内中心部は、スーパーマーケット、ホームセンター、コンビニ、金融機関、医療機関、飲食店、官公庁など生活に必要な施設が徒歩圏内に集中している。

<3.よそものを受け入れる文化>

かつて葉タバコの集散地として栄えた土地柄であり、古くから人の流入が多かったこと、また四国88か所巡礼のお遍路さんを「おせたい」する文化があり、田舎ではあるがよそものを受け入れる気質がある。

【メッセージ】

過疎のまちではあるが、生活に必要なものは全て整っている。大手外食チェーンなどは無いが故に地元飲食店を使うことになり、そのことがかえって特別感に繋がっている。

【お問い合わせ先】

- ・住所：〒778-0002 徳島県三好市池田町シンマチ1500-2
- ・電話：0883-72-7600 ・FAX：0883-72-7203
- ・お問い合わせ先：企画財政部地方創生推進課
- ・URL：<https://www.miyoshi.i-tokushima.jp/>

⑥鹿児島県薩摩川内市 「きっと ずっと 忘れない ぼくらの学び舎」

ゆくさ おじゃったもんせ！！！！

【概要】

- ・ **位置** 薩摩半島の北西部に位置し、南は県都鹿児島市といちき串木野市、北は阿久根市に隣接する本土区域と、その西部海上の甕島区域で構成されています。
東シナ海に面した変化に富む白砂青松の海岸線、市街部を悠々と流れる一級河川「川内川」、蘭牟田池をはじめとするみどり豊かな山々や湖、地形の変化の美しい甕島、各地の温泉など、多種多様な自然環境を有しています。
- ・ **市域** <面積> 約 683km²
<標高(海拔)> 約 5～10m (市街地)
- ・ **人口** <総数> 約 9.5万人
<世帯数> 約 4万世帯 (平成30年3月末現在)
- ・ **交通アクセス** <新幹線> 鹿児島市から12分、博多から1時間14分
<高速道路> 南九州自動車道 薩摩川内都IC、高江IC、水引IC
- ・ **主要産業**

【薩摩川内市が誇る4つのメリット】

<1. 土地、建物の減額譲渡>

通常、評価額10/10の譲渡額を、評価額の1/10に減額いたします。

<2. 土地、建物の減額貸付及び10年後の無償譲渡>

通常、評価額10/100(建物)、5/100(土地)の貸付料を、評価額の1.4/100に減額いたします。貸付を10年間継続いただくと無償譲渡が可能です。

<3. 増築等助成金の交付>

1閉校跡地につき、上限1億円(補助率1/2)の助成金を交付いたします。

<4. 3年間の固定資産税の課税免除>

土地、建物、償却資産について固定資産税の課税を3年間免除いたします。

【メッセージ】

… 本市では、閉校跡地利活用に特化した条例を策定いたしました。ぜひ、こちらをご活用いただき、新たな事業の展開、更なる企業の発展をご検討ください。

【お問い合わせ先】

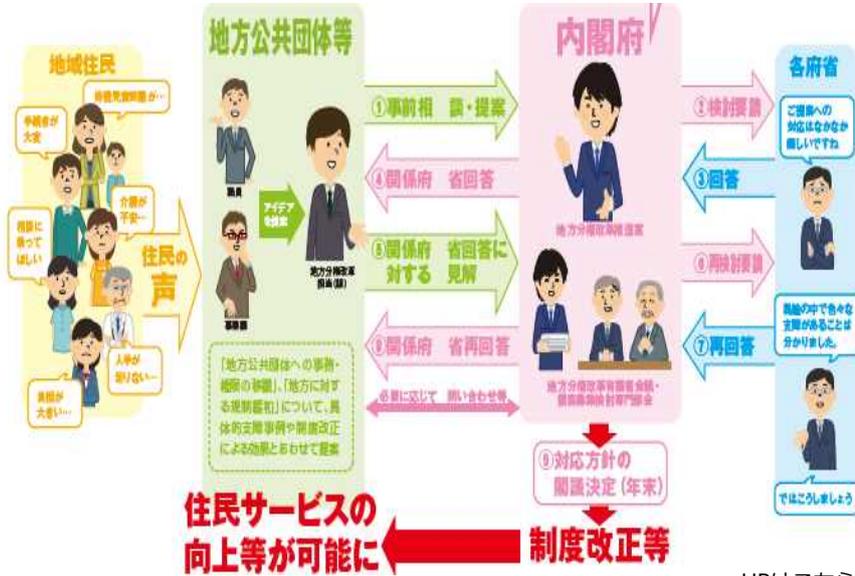
- ・ 住所：〒895-8650 鹿児島県薩摩川内市神田町3番22号
- ・ 電話：0996-23-5111 ・FAX：0996-20-5570
- ・ お問い合わせ先：総務部 財産活用推進課 財産活用グループ
- ・ URL：<https://www.city.satsumasendai.lg.jp>

地方分権改革・提案募集方式について（内閣府）

廃校を利活用する時に、制度面・法律面で困ったことはありませんか？
地方分権改革の「提案募集方式」を活用して、支障を取り除きましょう！！

提案募集方式とは

現場の課題を解決するため、法律・制度面の支障を地方から提案してもらい、国の制度等を変革する方式



空き公共施設における地方分権改革の事例

【秋田県大館市の事例】 BEFORE



国庫補助事業による補助金で建てた保育所が不要となり、空き公共施設になっていた。

↓ 地方分権改革推進室から各府省に働きかけ



補助金等適正化法の運用見直しを受け、市で条例を制定し、10年を経過した補助対象財産を国への報告だけで、比内地鶏の加工場へ転用可能に！！

→このことをきっかけに、空き校舎等の空き公共施設の利活用を柔軟に出来るように！！

【お問い合わせ先・部署】内閣府 地方分権改革推進室
・電話：03-3581-2484（地方支援担当）

HPはこちら



土曜学習応援団について（文部科学省）

子供の豊かな学びを支えるために、多様な企業・団体・大学等に「土曜学習応援団」に御賛同いただき、土曜日、夏休み、冬休み、平日の授業や放課後等の教育活動に出前授業や施設見学の受入等により特色・魅力のある教育活動を推進中。

土曜学習応援団に賛同した企業・団体・大学等
（平成30年7月1日付で767団体）

情報を登録

土曜学習
応援団HP

情報を収集

学校・教育委員会
地域の教育団体等



出前授業、施設の見学、
職場体験 等の提供



土曜学習応援団の企業・団体等との協働により子供たちの教育活動の充実を！

教育活動
自然体験・食育
文化芸術・スポーツ
実験・工作
プログラミング・IT
ビジネススキル
グローバル人財育成 等

土曜学習応援団へ
ご賛同ください！

【お問い合わせ先】

- ・部署：文部科学省生涯学習政策局社会教育課地域学校協働推進室
- ・電話：03-5253-4111（内線3080）、03-6734-3080
- ・E-mail：doyo@mext.go.jp
- ・URL：http://doyo2.mext.go.jp